

研究課題名：社会脳ネットワークの動作原理の解明に向けた心理・生理・解剖学的研究

～自己と他者を脳から理解する～



<研究概要>

本研究では、マカクザルをモデル動物として、本質的に社会的な動物であるヒトを理解するうえで必要不可欠な社会的認知機能、特に自己と他者の行動情報処理に関わる神経基盤の解明、さらにその機能不全により顕在化する行動異常の解析による、精神・神経疾患のメカニズム理解を目指します。心理・生理・解剖学的アプローチを駆使し、理学や医学のみならず、人文科学などを含む幅広い科学分野に資する脳科学的知見の提供に繋がります。

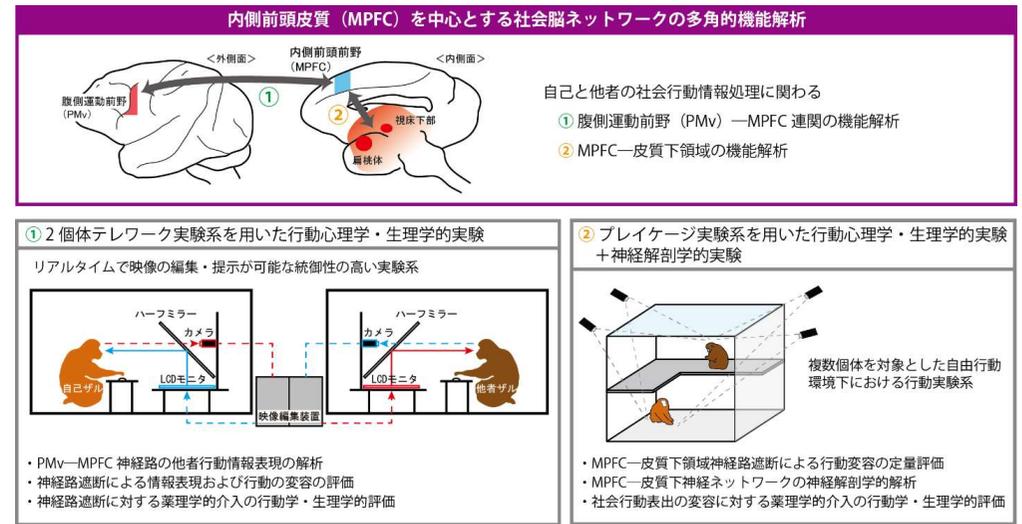
にのみや たいはい

氏名：二宮 太平

所属機関：生理学研究所

役職：助教

(ブレインサイエンスおよびその関連分野/認知脳科学関連)



自己と他者の社会行動に関わる社会脳ネットワークの動作原理の解明と関連疾患の理解

<略歴>

2005年大阪大学卒業、2010年大阪大学大学院生命機能研究科一貫制博士課程修了。2010～2012年京都大学霊長類研究所特定研究員。2013～2014年米国Vanderbilt大学博士研究員。2015～2016年京都大学霊長類研究所特定研究員。2016年より生理学研究所認知行動発達機構研究部門助教